

委員からの発言



鹿児島 川崎委員

①ダイヤ改正の問題について
職場で議論し要求を作った。2月10日に交渉を行う。博多車掌区では労働条件の署名が厳しい。若手が組合からするなど言われて協力が難しい。年配者などは協力してくれているので、厳しいが一人でも多くの署名を集めたい。②組織拡大について
職場の中で若手と話す機会を作りながらやっている。他の地区本部の取組みも参考にしながら、若い人の拡大に向け全力で奮闘したい。



博多 中村委員

①職場での取り組みを報告したい。ダイヤ改正では24H超える行路が3本あり仕事は確実にきつくなっている。今回会社は時刻表にある列車行き違いのマークを外したいと言ってきたので、職場新聞を出し反論してきていた。よく掲示板を見てもらっているようで反応もよい。



北九州 福岡委員

①ダイヤ改正について 指宿枕崎線に入るSSSについて15項目の要求を出し交渉してきた。安全サービスの低下からも廃止を求めている。今でも無人駅が多く、キセルが横行しているのに、SSS導入で拍車がかかるのではないかと。日本人のモラルを壊すことをJRがやっていると思う。障害者など弱者が扱いにくい鉄道となっている。②60歳以上の再雇用問題について
自分も再雇用となったが低賃金で生活ができるのか不安である。仕事内容が同じならそれなりの賃金を出すべきだ。改善を求めたい。

①ダイヤ改正について 唐津駅が委託化となり、多久駅が無人化となる。小城駅も朝夕以外無



佐賀 久本委員

②日田彦山線復旧問題について
税金を多くもらってきた以上、鉄道で早期に復旧すべきだ。経営安定基金のうち鉄道の維持に使えるお金があるはずで、JRは基金を早期に使ってお金が無いと言いたいのではないかと。国労の姿勢が問われていると思う。方針は反対しているが、あまり行動が見えないと思う。九州本部としての具体的な行動提起をお願いしたい。③関連会社の労働条件改善に向けて
プロパー社員は低賃金で家どころか結婚も出来ない状況があり退職が絶えない。組織拡大するためにも労働条件の改善は緊急である。交渉等今後どうしていくのか。④組織拡大について
若い社員と中々接点が見つからないとか言われるが休憩室では不満が多く出されている。様々不満をくみ取り拡大に活かして職場で全力で取り組みたい。

①再雇用問題について
長崎の組合員の半数が嘱託再雇用者となった。高齢化が進んでいる。役員のなり手が少なくなった中でも機関会議を定期的に開催して活動をおこなっている。地区本部大会を開催したが、要求のほとんどは55歳以上の賃金改善であり、再雇用の労働条件改善であった。制度の修正を必ずやりたいと思う。②組織拡大について
職場での会話が大事であり相談に乗っていくことが大事だと思う。厳しいが、あきらめずに拡大に向け奮闘したい。



長崎 上之浜委員

人駅となり自車扱いが増えて労働強化につながる。②60歳以上の労働条件について
賃金が同一労働同一賃金となっていない。仕事と同じなら同じ賃金を払うべきである。65才以降の提案もされ、働きたいが労働条件の改善が必要である。